



追加型投信 / 国内 / 株式

優良日本株ファンド 【愛称:ちから株】

決算のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2015年12月7日

平素は「優良日本株ファンド【愛称:ちから株】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

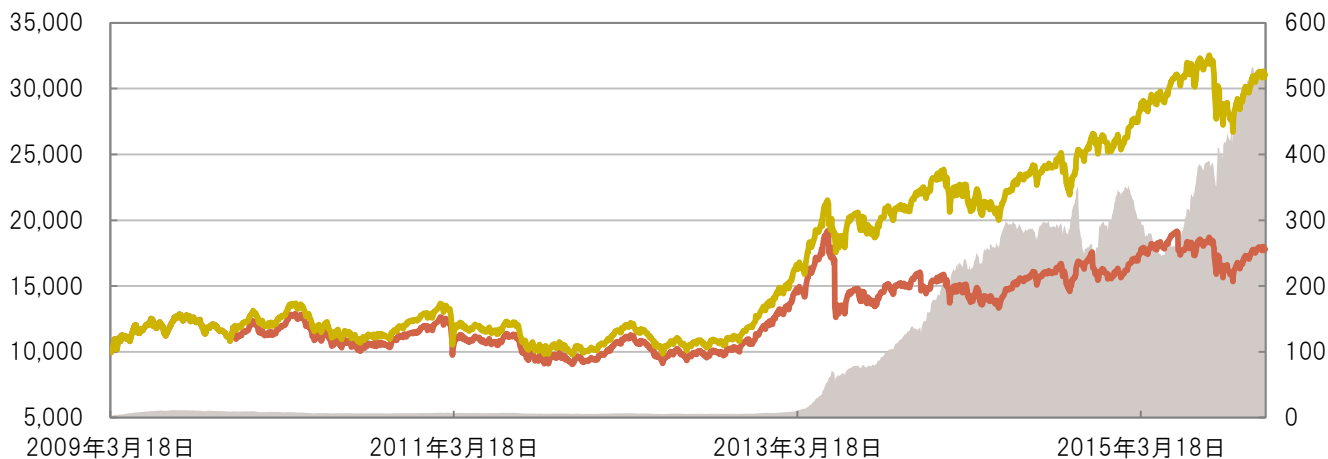
さて、当ファンドは2015年12月7日に第13期(2015年6月6日～2015年12月7日)の決算を迎えました。当期における日本株式は、夏場にかけて中国をはじめとする世界的な株式市況の急落等の影響を受けるなど、やや軟調な展開となり、当期末の水準は前期末からわずかに下落しました。こうした中、当ファンドの基準価額は前期末から若干の上昇となり、市場環境や分配原資の状況も含め総合的に勘案したうえで、当期の分配金を50円(1万口当たり、税引前)といたしましたことをご報告いたします。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

ファンドの運用状況 ～設定来のパフォーマンス・分配金推移～

【基準価額と純資産の推移】

(期間: 2009年3月18日～2015年12月7日)



■ 純資産総額(億円)【右軸】 ■ 基準価額【左軸】 ■ 基準価額(分配金再投資)【左軸】

- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

【分配金(税引前)の推移(第1期～第13期)】

	第1期～第8期合計	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	設定来 合計
	2009年12月 ～2013年6月	2013年12月	2014年6月	2014年12月	2015年6月	2015年12月	
分配金 (税引前)	4,500円	1,200円	0円	1,300円	1,300円	50円	8,350円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

優良日本株ファンド 【愛称:ちから株】

当期の運用状況について

第13期の国内株式市況は、夏場にかけて中国をはじめとする世界的な株式市況の急落等の影響を受けるなど、やや軟調な展開となり、当期末の水準は前期末からわずかに下落しました。こうしたなか、当ファンドにおいては、「競争力のある優良企業」の中から「割安」な銘柄を「厳選」して投資するという運用方針のもと、定量面および定性面から徹底分析した個別銘柄の選択、そして時価総額の大小や業種等の継続的なリスクコントロールなどが奏功したことにより、当期の基準価額(分配金再投資)は前期末から若干の上昇となりました。当期においては、「あい ホールディングス」、「朝日インテック」などが基準価額の上昇に寄与しました。

ファンドの基準価額上昇に寄与した上位銘柄

(期間:2015年6月8日~2015年11月30日)

銘柄名	
1	あい ホールディングス
2	朝日インテック
3	GMOインターネット
4	森永製菓
5	ラオックス
6	ユニゾホールディングス
7	ITホールディングス
8	エン・ジャパン
9	アルプス電気
10	オービックビジネスコンサルタント

・上記記載の期間中にファンドの基準価額上昇に対して寄与度が大きかった上位10銘柄を表示しています。
 ・上記銘柄には途中で売却したものを含まず。

上記は当ファンドの基準価額上昇に寄与した上位銘柄を示すために掲載したものであり、特定銘柄の推奨を目的とするものではありません。

今後の見通し、運用方針について

2015年度から2016年度にかけての国内上場企業の業績は過去最高益を更新する見通しです。2016年度に向けては、①20%台への法人税引き下げが期待されること、②経済界がベア容認姿勢を見せており消費の downstairs が期待できること、③経済界が設備投資拡大に前向きな姿勢を見せていること、などのプラス要因があり、企業収益から見て現在の株価水準は割安に位置していると見ています。

当ファンドは特定のテーマに偏らず、銘柄の厳選と完成度の高いポートフォリオ運用により良好なパフォーマンスを狙う運用戦略をとっております。よって、設定後の様々な局面において参考指数(TOPIX)を大きく下回ることなく、着実に超過収益を獲得してきました。チーム運用による徹底したボトムアップリサーチ体制が、銘柄厳選を可能にしています。今後とも当ファンドでは、業界内における高シェア、健全なバランスシート、積極的な株主還元などに着目して優良銘柄を厳選、継続的なリスクコントロールのもと、効果的に超過収益を積み上げつつ、中長期にわたりパフォーマンスの向上に努めてまいります。

＜ご参考＞マザーファンドの過去のパフォーマンス推移と要因分析

	2012年12月6日 ~2013年6月5日	2013年6月6日 ~2013年12月5日	2013年12月6日 ~2014年6月5日	2014年6月6日 ~2014年12月5日	2014年12月8日 ~2015年6月5日	2015年6月8日 ~2015年11月30日
ファンド (分配金再投資)	58.95%	18.70%	1.42%	20.78%	16.63%	0.60%
TOPIX(配当込み)	40.86%	13.79%	1.36%	18.37%	16.48%	-4.39%
超過収益率	18.08%	4.91%	0.06%	2.41%	0.15%	4.99%
業種配分効果	-0.89%	0.85%	-0.05%	-0.35%	0.10%	-0.26%
銘柄選択効果	19.91%	4.03%	-0.09%	2.79%	0.10%	5.09%
その他*	-0.93%	0.02%	0.20%	-0.02%	-0.04%	0.16%

*その他は日中の売買タイミングや資金の流出入および計算上の複合効果等を含みます。

・ファンド、TOPIXのパフォーマンスは各期末とその1期前の期末の値をもとに計算したものです。当期は2015年11月30日までのデータで計算しています。

・上記はマザーファンドの運用実績であり、当ファンドの運用実績ではありません。

■上記は過去の実績・状況です。本見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

優良日本株ファンド【愛称:ちから株】

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、競争力のある優良企業の株式の中から、割安と判断される銘柄に投資することにより、値上がり利益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長をめざします。
- ・株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。
- ・競争力のある優良企業[※]の株式の中から、割安と判断される銘柄(ちから株)を厳選して投資します。
- ※競争力のある優良企業とは、業界内のシェアや株主還元、財務の健全性等の観点で、相対的に評価が高いと委託会社が判断する企業をいいます。
- ・銘柄選定にあたっては、株価の割安度等に着眼して30～50銘柄程度に投資を行います。
- ・実際の運用にあたっては、主に優良日本株マザーファンドを通じて投資を行います。

<主な投資制限>

- ・株式への実質投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

<分配方針>

- ・年2回の決算時(6・12月の各5日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ国際投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

優良日本株ファンド【愛称:ちから株】
投資リスク
■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。 なお、1億口または1億円以上の換金のお申込みについては正午までをお願いします。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2018年12月5日まで(2009年3月18日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年6・12月の各5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

優良日本株ファンド【愛称:ちから株】
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額 × 3.24% (税抜 3%) (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは販売会社にご確認ください。
--------	--

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.08% (税抜 年1%)
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

＜お客様専用フリーダイヤル＞ **0120-151034**
受付時間／9:00～17:00(土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

＜オフィシャルサイト＞ <http://www.am.muftg.jp/>

販売会社情報一覧表

ファンド名称: 優良日本株ファンド

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 阿波銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	日本証券業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/ 一般社団法人金融先物取引業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号	日本証券業協会
株式会社 京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	日本証券業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
株式会社 筑波銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第44号	日本証券業協会
株式会社 栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第57号	日本証券業協会
株式会社 鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	日本証券業協会
株式会社 北陸銀行 (インターネット専用)	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第41号	日本証券業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会